

6年間を振り返って

私は青井小学校で、「命の大切さ」について学びました。命の大切さを
知るまでは、友達に嫌な思いをさせてしまうことがたくさんありました。
しかし、毎月ある青井小学校の「いのちの日」やニュースで見た悲しい出
来事を知るたびに、命について改めて考えてみると、自分が思っている
以上に命ははかないものだと思いました。この大切な命を守っていく
ために、中学生になっても友達や家族に話す言葉を選び、自分の命だけ
でなく、周りの人の命も大切にしていきたいです。

一組

僕はこの六年間で、「命や仲間の大切さ」を学びました。なぜなら、仲間
がいなければ乗り越えることができなかったことがたくさんあったか
らです。感染症の流行により、不自由を強いられることがたくさんあり
ました。そんな中でも、同じ目標に向かって、一緒に頑張ってくれた仲間
や僕を育ててくれた親への感謝の気持ちを忘れず、命の限り一生けん命
生きていきたいです。

一組

私はこの六年間で「本当の楽しさ」について知りました。運動すること
が好きなので、サッカー部に入り、友達と楽しく部活動をしていました。
そんな中で「本当の楽しさ」を見つけようと言われ、それは仲の良い友達
と楽しむことだと思っていました。しかし、チーム決めで仲の良い友達と
離れてしまい、「絶対に楽しくない」と思っていたはずが、同じ目標に向
かって一緒に取り組む中で、今まで感じたことのない達成感がありまし
た。その時、本当の楽しさは「仲間と真ん中に取り組むこと」だと気付
きました。それから部活動がもっと楽しくなりました。中学校に行っ
ても、青井小学校で学んだことを忘れず、どんなことでも一生けん命取
り組み、中学校生活を楽しみたいです。

一組

僕はこの六年間で学んだことがたくさんあります。その中で印象に
残っているのが二種類の「バトン」についてです。これは先生がよくおっ
しゃっていったことで、一つ目は「命のバトン」です。命はバトンのように、
次の人へと渡っていきます。自分が受け継いだバトンは自分だけのもの
ではなく、「いろんな人がつないできた大切なバトン」なので、これから
も命を大切にしていきたいです。もう一つは「伝統のバトン」です。青井
小学校では、明るいあいさつ・思いやり・一生けん命の「あ・お・い」を
大切にしてきました。僕たちは昨年、今年の六年生から受け継ぎました。
僕たちはもう卒業してしまうので、それまでに今の一年生から受け継ぎま
さんに責任をもってつなげていき、これからも変わらず大好きな青井小学
校でいてほしいと思います。

一組

私がこの六年間を通して学んだ事は、いつもそばにいてくれる友達
や家族の大切さです。辛い時や苦しい時、支え励ましてくれたのは、友
達や家族でした。塾のお弁当を作ってくれたり、頑張った成果を自分
の事のように喜んでくれたりした人たちへ、感謝の気持ちでいっぱい
です。

二組

これから先、今までにない困難な壁に当たることもあると思います。
そんな時は「ありがとう」と「ごめんなさい」を大切にしながら、喧嘩
もしたけれどたくさん笑いあった人たちとともに少しずつ歩んでい
こうと思います。

私が青井小学校で学んだことは、青井小学校の伝統「あ・お・い」
のあいさつ、思いやり、一生懸命の大切さ、仲間がいるということの素
晴らしさです。

あいさつをすることで、自分も相手も気持ちがよくなります。思い
やりをもつことで、優しいクラスになります。一生懸命になることで、
何事にも集中することができそうです。

そして、仲間がいることで互いに助け合いながら成長することがで
きました。これらのことは、人として生きていく上でとても大切だと
いうことを六年間を通して実感しました。

二組

私は、部活動を通して学んだ事がある。
それは、感謝の気持ちを言葉にして伝える事だ。部活動の先生はポ
ランテアで教えてくださった。それを当たり前のように思っ
てはいけなかった。感謝の気持ちは、思っているだけでなく、言葉に
出して初めて伝わる。「ありがとう」が大切です。「この一言だけで、相手
の気持ちを動かすことができる。中学校でも部活動はあるので、「思い
を伝える」ということをこれからも意識していきたい。

二組

僕は今年、サッカー部や図書委員会や部長や委員長としてみんなを
引っ張る立場になりました。最初の頃は先生に頼っていて、一人でみ
んなをまとめようとしていたけれど、後期になり部活の大会や委員会
の発表が近くなるとこれまで一人でやってきたことをみんなと協力
してやることでまとめることができました。中学校でも、一人ではな
くみんながいることを忘れずに生活していきたいです。

二組

3月の目標

- ◎生活目標…学年のまとめをしっかりとしましょう。
- ◎清掃目標…教室をきれいにして次のクラスに引きつぎましょう。
- ◎保健目標…健康について1年間の反省をしよう。
- ◎給食目標…1年間をふりかえろう。

卒業に向けて

開校50周年という節目の年を迎えた、6年生54名が、いよいよ卒業を迎えます。卒業まであと一か月になりました。青井小学校で過ごしたこの6年間は、子供たちにとって特別なものでした。新型コロナウイルス感染症の影響によって制限がかかる中で、もしかすると楽しいことよりも苦しかったことの方が多かったかも知れません。そんな中でも、子供たちは「考動」をテーマに自分たちで考え、行動してきました。そして、新たなことに挑戦しつつ、青井の伝統を守り続けてきました。一人では難しいことも、仲間と支え合い、励まし合う中で、前向きに学校生活を送ってきました。人とのつながりを改めて感じ、関わってくれたすべての人への「感謝」を強く感じる事ができた一年間でした。

小学校生活最後の晴れ舞台、「卒業式」。今まで支えてくれた人たちに、感謝の気持ちを態度で示しましょう。学校中のみんなが期待しています。

第6学年主任 茅原 雅樹

6年生を送る会

